

2009年2月9日

大日本スクリーン製造株式会社

2009年3月期第3四半期決算説明会 Q&A

・今期業績をどのように予想しているのか？

今期業績はさらに減少するのではないかと懸念しています。その要因として、半導体製造装置売上のさらなる悪化、画像情報処理機器での欧州向け CTP 売上のダウンや為替の影響などがあります。11月発表の業績予想から変更しておりませんが、現在再建プロジェクトに係る費用も精査しており、この作業が完了次第、改めて発表させていただきます。

・来期マーケットの見方を知りたい。

半導体製造装置市場は今期比4割程度の減少を予想しています。現状の受注低迷を踏まえますと、当社の売上規模は大幅にダウンすることも覚悟しないとはいけません。液晶製造装置に関しても、現状の厳しい受注状況から、来期は今期売上の半減となる可能性もあり得ます。

・資金調達は大丈夫なのか？

間接金融での資金調達には問題はないと考えています。ただし、再建計画などについて進捗行程の管理をきちんと行うことが必要であると考えています。

・他社との再編・統合はありうるのか？

昭和18年設立以来、独自に発展してきた会社なので、基本的に他社と一緒になるということは考えていません。現在、この難局をいかに打開するかを第一に考えています。

・過去の不況時の経験は活かされたのか？

2002年3月期のITバブル崩壊時の教訓から、バランスシートの改善や組織のスリム化などを進めてきましたが、今回の激しい事業環境の変化に対応できず、市況の波に影響されてしまったことを反省しています。

・400億円コスト削減に向けた取り組みの実施期間は？

昨年緊急対策として発表した40億円のコスト削減に加えて、400億円のコスト削減活動を2月以降順次行っており、来上期までに終了する予定です。そして、来下期頃からの効果を期待しており、2011年3月期の黒字化を必達目標として実施していきます。

SCREEN

・第4四半期(2009年1月～3月)ならびに来上期の受注見通しを知りたい。

半導体製造装置に関しては、引き続き低調に推移し、さらに悪化するリスクも想定しています。DRAM メーカーによる再編統合のニュースも出ていますが、それにはまだ時間がかかり、当社受注への影響度も現状では算定できません。来期についても、夏ごろまで、受注の回復は難しいのではないかと予想しています。また、FPD製造装置も同じ状況にあります。